

経済学科 ■ 学科科目

●必修科目 ○選択科目(数字は単位数)

■ 経済学の基礎

経済学の基礎 I・II・III・IV ② ② ② ②

マクロ経済学とミクロ経済学を専門的に学ぶ
経済活動の全体を鳥瞰するマクロ経済学の考え方として、国内経済の基本的な仕組みと働き、政府が行う経済政策、金融の仕組みと働きについて学習します。ミクロ経済学では、市場経済の基本と政府の役割を学びます。



三つの履修分野

■ 経済と生活

日本の経済 ②

日本経済が直面する課題を理解し考える
日本の経済について、歴史、理論、制度の三つの柱を中心
に学びます。日本経済が直面している課題を認識し、そ
れに向けた過去の取組を知り、今後どのような取組が行
われるべきかについてアベノミクスを中心に考えます。

北海道の経済 ②

北海道経済が直面する課題を理解し考える
北海道の経済について、歴史、理論、制度の三つの柱を中
心に学びます。北海道経済が抱えている課題を認識し、そ
れに向けたどのような取組が行われてきたかを知り、今後
の北海道経済のあるべき姿について考えます。

消費と経済 ②

消費の構造を理解し、消費の方向性を考える
消費は、昨今の日本において、ミクロレベルでは「嫌消
費」、マクロレベルでは「需要飽和」といった言葉が聞か
れるようになり、深刻な有効需要不足が懸念されていま
す。これらの現象を実証データに基づき理解します。



税金と経済 ②

税制の仕組みを理解し、今後の税制を考える
現在の日本の財政は、先進国の中で最も悪化している状
況と言えます。この深刻な財政状況は、国民の生活に深
く影響を及ぼしています。租税の理論を中心に現行の税
制度を理解し、今後の望ましい制度を考察します。

労働と経済 ②

労働環境と雇用、労働法規と就業知識を学ぶ
社会構造の変化と国際的競争のなかで、政府・企業の雇い
方・働き方は変化しています。女性への期待が高まる一方で、
雇用の非正規化も進んでいます。労働環境の変化を
理解し、必要な知識を身につけ、働き方を考えます。

福祉と経済 ②

社会福祉の意義と理念、問題や制度を理解する
経済生活と社会福祉は密接に関連しています。社会福祉
は、社会生活上の諸問題に対応する専門的な社会サービス
の体系を意味します。消費者の立場から社会福祉の身
近な事例を取り上げ、仕組みや課題について学びます。

環境と経済 ②

環境問題を学び、生活との関わりを理解する
環境問題は現代の私たちの生活に深く関わっています。
なぜ環境問題が発生するのか、その解決に向けてどのような
政策がとられてきたのかについて、環境問題の領域ごとに、
経済や社会の仕組みとの関係から学びます。

■ 金融と国際経済

金融と経済 ②

金融の基本を理解し、応用的な金融問題を学ぶ
金融の基本について、金融の果たす三つの役割に基づき
整理して考えます。役割を理解し、全てに関わる金融仲
介機関である銀行の機能と脆弱性についても考えます。
金融に関する知識を深め、応用的な科目に繋げます。

銀行と金融 ②

経済や生活における銀行の役割と機能を学ぶ
銀行は預金、貸出、為替といった業務やATMなどを通じ、
日常生活でなじみ深い役割を果たしていますが、規制緩
和やニーズの変化などを背景に経営も大きく変化して
います。銀行の役割や機能を具体的な事例により学びます。

証券と金融 ②

有価証券の基本とライフプランの設計を学ぶ
証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府に
おいて非常に重要な役割を果たしています。証券の仕組
みと役割を学ぶとともに、株式相場と社会・経済の動き
との関連性、企業の評価等について学びます。



保険と金融 ②

保険の仕組みと役割を理解し、必要性を考える
企業活動や個人の生活には、様々なリスクがつきまと
います。その備えとして、生命保険や損害保険など「保険」
の仕組みができ、社会経済の変化に応じて発展してきま
した。保険の仕組みと役割を学び、必要性を考えます。

国際経済 ②

日本の貿易の現状と国際経済学の理論を学ぶ
「外国の貿易政策が日本にどのように影響するのか？」
「なぜ貿易の自由化が推進されるのか？」など、国際経
済に関する様々な疑問について、貿易・貿易政策をテー
マとして、日本と他国との経済の関連を学びます。

証券と金融 ②

有価証券の基本とライフプランの設計を学ぶ
証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府に
おいて非常に重要な役割を果たしています。証券の仕組
みと役割を学ぶとともに、株式相場と社会・経済の動き
との関連性、企業の評価等について学びます。



国際経済事情 ②

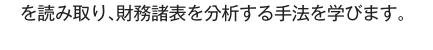
国際経済の地域間連携を学び、経済を考察する
最新のデータ・統計・地図を用いて、世界各地域の経済を
産業・資源・グローバル経済から学ぶとともに、各地域固
有の社会状況にも目を向けています。一般論から脱し、多様
かつ柔軟な視点で経済を見る姿勢を養います。

国際金融 ②

国際金融の情報から影響と対処法を考察する
国際金融を制度・歴史・理論の三面から多角的に理解し、
グローバル化によって世界各地と重層的に結びつく地域
経済のなかで活躍するビジネスパーソンの基礎的素養と
しての国際金融に関する基本的な知識を身につけます。

証券と金融 ②

有価証券の基本とライフプランの設計を学ぶ
証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府に
おいて非常に重要な役割を果たしています。証券の仕組
みと役割を学ぶとともに、株式相場と社会・経済の動き
との関連性、企業の評価等について学びます。



■ 経営と情報

企業と経営 ②

企業の種類と特徴、経営者の役割を理解する
私たちの生活と深い関わりを持ち、社会や経済にも大き
な影響力を持つ企業の社会的役割を理解し、その運営の
仕組みを学びます。身近な企業の事例を取り上げながら、
企業の仕組みと運営の仕組みについて学びます。

簿記 I・II ② ②

基本から学び、日商簿記3級合格を目指す
企業経理を行う際に使用する複式簿記の基本的仕組み
を理解する簿記入門講座です。商品販売業を前提とした
商業簿記の基本について学修します。また簿記I修了者
を対象として、決算整理仕訳から財務諸表を学びます。

企業と会計 ②

財務三表を理解し、財務諸表分析の手法を学ぶ
株式会社における損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・
フロー計算書の基本を理解します。また、実際の決算書
を題材に企業の財政状態、経営成績、キャッシュ・フロー
を読み取り、財務諸表を分析する手法を学びます。



企業と市場 ②

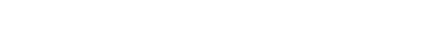
コンセプト、プロセス、主要手段を理解する
企業には消費者が望む商品を生産し、手許に送り届ける
活動が必要です。これが企業の中核的な活動と位置づけ
られるマーケティングです。具体的な事例に触ながら
マーケティングの仕組みを理解することを目指します。

企業と法律 ②

企業法としての商法と会社法を理解する
自由経済社会において、人は利益を求める営利活動を行
います。自由な営利活動といえども、法治国家において
は法に適合していかなければなりません。営利性・迅速性・
定型性の特性を有する商法および会社法を学びます。

コンピュータ実習 III・IV ① ①

基本操作から学び、検定試験合格の知識を得る
財務会計及びパソコン基本操作・知識を体系的に学習し
ます。パソコンやネットワークの正しい知識、操作方法
及び企業の財務会計の知識と実務能力を学びます。IV
では高度な活用方法の取得と技能の向上を目指します。



■ 研究科目

専門ゼミナール ②

深く追究したいテーマを選び、
調査・研究に取り組む
学生一人ひとりが興味のある分野のゼミに所属し、そ
れぞのテーマを探求します。また1年間の専門ゼミを
通して、自己表現方法やコミュニケーション能力も磨き、
課題研究にも取り組みます。

卒業研究 ①

2年間の学修の集大成として、
研究・分析結果をまとめあげる
専門ゼミごとに個人あるいはグループ単位でテーマを
設定し、それについて研究・分析し、考えをまとめあげ、
論文などの形にします。優れた研究成果に対しては、「優
秀卒業研究賞」を授与しています。

